

2025 年若獅子旗争奪『第 32 回学童低学年秋季大会』実施要綱

目 的 低学年時期から試合に出場して野球を楽しみ、ルールを覚えて、挨拶や礼儀を学ぶ

大会名称 若獅子旗争奪『第 32 回学童低学年秋季大会』

主催：文京区少年軟式野球連盟

後援：若獅子クラブ、東京新聞、東京中日スポーツ

協力：世田谷区少年野球連盟、中央区少年野球連盟、台東区少年軟式野球連盟

実 施 日 10 月 5 日 12 日 13 日 19 日 25 日 26 日 11 月 2 日 3 日 8 日 9 日 （予備 11/1 目白台 G）

大会会場 文京区後楽少年野球場 1 面（文京区後楽 1-6-25）

文京区六義公園運動場 2 面（文京区本駒込 6-16-10）

参加資格 男女共に小学 4 年生以下の編成で、大会日程に対応できるチーム

（合同チーム可、但し選抜チームは不可）

選手集合 ・試合開始 30 分前（午後の試合は 1 時間前）までに必ず集合してください。（試合の進行状況で試合開始時間が早くなる場合があります）

メンバー表 ・グラウンドに入ったら直ちに本部に提出する。選手は 9 名以上 25 名以内とします。

メンバー表は自チーム控えを含め 4 枚を大会本部へ提出、検印を受けること

試合方法

①試合時間 : 試合時間は準々決勝までは 60 分を過ぎたら新しい回に入らず均等回の得点で勝敗を決定（勝ち逃げ禁止規則は適用しない）準決勝以降は時間制限なしで 5 回迄行う

②試合球 : 試合球はナガセケンコー J 号（本部で用意）

③ベンチ : ベンチはトーナメント表の若い番号が 1 塁側、攻守は試合開始前にジャンケン

④ベンチ入り人数 : 試合中にベンチに入れる大人は、監督（30 番）・コーチ（29・28 番）・チーム代表者、引率責任者・スコアラーの計 6 名までとする。選手は 0 番から 99 番までの 25 名以内、登録選手のみとします。

※但し選手に対する補助の為に 2 名の保護者がグラウンドに入るのは許される。

※本大会に於いて公認学童コーチの帯同を必須とします。

⑤グラウンド内 : 試合中はベンチ入りする人以外はグラウンド内に入れません。

⑥コールド : すべて 3 回以降 7 点差でコールド成立。日没や雨天の場合は 3 回で試合成立。

⑦同点 : 同点の場合は 1 回のみタイブレーク方式（無死一・二塁、継続打順）を実施、決着がつかない場合は抽選。なお、準決勝以降は決着がつくまで行う

⑧防具 : 試合中は、バッター、ランナー、コーチ（選手）はヘルメットを着用すること
捕手はヘルメット、マスク（スロートガード付）、ファウルカップを着用すること

⑨投球数 : 投手投球数は 1 日 60 球以内、60 球に達した場合はその打者が打撃完了するまで投球ができる。また一度退き野手となった場合、再登板は出来る。

⑩低学年ルール : 幼年選手の投げ過ぎによる故障を防止するため、攻撃側が 10 得点を越えた場合はアウトカウントにかかわらず攻守交代（チェンジ）とする。また、20 点差がついた場合は、その時点で試合終了とする（文京低学年ルール）

⑪本塁打 : 外野金網フェンス 2 段目と 3 段目の境(黄色いライン)より上部に直接当たったフェア打球は本塁打とする（後楽少年野球場のみ）

⑫コーチャー : チームのユニホームを着用し、指導者背番号（28～30 番）をつけた監督及びコーチにかぎり、攻撃時にコーチャーボックスに入ることを認める

⑬ボーク : ボークについては 1 回目から宣告する

⑭指名打者 : 本大会において、指名打者ルールを使用することが出来る。ただし、二刀流選手は採用しない。

⑮大会ルール : 本大会は、アマチュア規定及び公認野球規則 2025、競技者必携 2025 を適用する。
但し、下記の大会要項と各会場でのローカルルールを優先する。

注意事項 : メガホンの使用は禁止します。
: 自転車で来場した場合は必ず駐輪場に停めてください

試合結果 連盟ホームページに掲載

日程確認 雨天の場合の当日確認や日程確認 → AM7:00 に連盟ホームページで確認のこと
※人工芝グラウンドなので（後楽少年野球場）雨が止めば大会を実施します。
なお、電話の問い合わせは一切対応しません

連盟HP 文京区少年軟式野球連盟 <http://www.bsnbb.jp>

以上